

3.3 2017年度 部門別事業報告

(1) 調査・研究部門

① 南大東村の高齢者福祉・介護計画策定業務の受託

- 2016年度に続き、南大東村より「南大東村高齢者福祉・介護計画」(2017～2021)の策定作業を受託し、同計画の策定を支援しました。
- 2017年10月14～17日に南大東村職員と北海道の地産地消や福祉事業(当別町の社会福祉法人「ゆうゆう」と町社協、札幌市社会福祉法人「協立いつくしみの会」)の視察を行い、アルスヴィータの提案する南大東村福祉・介護計画での「うふあがり共生元気むら」構想の具体化を進めました。
- 「南大東村高齢者福祉・介護計画」のダイジェスト版を作成し、仲田村長に提出し、懇談しました。村長から村社会福祉協議会に、この計画の実施団体としての意思確認等の働きかけがありました。
- 「南大東村高齢者福祉・介護計画」は、実施段階に入り、介護福祉専門員や保健師の確保などを課題として確認しました。南大東村では、計画に基づき2017年度に介護福祉専門員と保健師の確保に成功しました。

② 竹富町の医療福祉視察の実施

- 2017年10月31日に竹富町の福祉支援課より、「南大東村でのアルスヴィータのとりくみに興味があり、多くの離島を抱える竹富町で、島ごとのニーズを把握し、必要な医療福祉サービスを提供するためにどうしたらいいかを直接相談したい」旨のメールがありました。
- すぐに文献調査を行い、資料収集の上、12月22日に竹富町と現地視察について合意し、1月18日～20日に第1次現地視察を行いました。
- 視察では、1月18日に竹富町福祉支援課(課長以下5名)と竹富町の医療福祉の現状についてのお話を伺い、その後小浜島の診療所とデイサービスを視察しました。1月19日は、波照間島のNPOの運営する小規模多機能型居宅介護、診療所を視察、竹富島では、診療所を見学しました。
- 2月2日に報告書を提出し、4月に第2次視察として、西表島の2つの地区、黒島を視察すること、2回の視察を踏まえて、竹富町での医療福祉課題についての提言とアルスヴィータの支援内容について検討することとしました。

③ 沖縄県との懇談

- 6月と7月の2回、沖縄県庁の子供生活福祉部、高齢者福祉介護課、福祉政策課を訪問し、沖縄県の「『我が事・丸ごと』地域共生社会」のとりくみの現状、介護保険事業についてお伺いし、同時に南大東村でのアルスヴィータのとりくみの報告を行いました。

④ 沖縄県介護保険広域連合への提案

- 6月に沖縄県介護広域連合会を訪問し、第7次介護保険事業計画の策定の進捗状況、南大東村での新たな介護サービスの開始についての見解等をお聞きしました。介護サービスの充実は、村民の要求なので新たなサービスが行われることを歓迎することでした。

⑤ 『我が事・丸ごと』地域共生社会」の政策研究とモデル事例の調査

- 年間を通じて厚生労働省の『我が事・丸ごと』地域共生社会」関係の審議会の傍聴を行いました。
- 10月に厚労省の『我が事・丸ごと』地域共生社会」のモデルとされている北海道当別町の社会福祉法人「ゆうゆう」、町社会福祉協議会の視察を行いました。
- 2018年2月26日厚労省・全社協主催の『我が事・丸ごと』地域共生社会」フォーラムに参加し、自治体の取り組みの現状や課題について学びました。

⑥ 2018年診療報酬、介護報酬等の改定に関する調査・研究

- 2018年度の医療、介護、障害者にかかる報酬制度のトリプル改定の審議会(社会保障審議会、中央社会医療協議会など)を傍聴し、厚労省の資料等の分析と情報発信を行いました。
- 医療福祉生協、社会福祉法人などへの影響についての考察を行い、政策提言、講演活動を行いました。

⑦ 医療福祉生協の診療所の経営実態調査

- 2016年度に引き続き医療福祉生協の診療所の経営実態調査を行いました。
- 調査内容は、経営状況、医事・介護の内容や患者・利用者の動向、周辺の組合員組織の状況などです。
- 調査した法人は、なにわ保健生協、けいはん医療生協、北多摩中央医療生協、ながおか医療生協でした。

(2) **コンサルティング部門**

① 自治体住民支援活動

- 7月25日に東京都稲城市の市民と稲城市での医療福祉生協づくりについて懇談しました。今後も懇談を重ねて実現に向け協議することとしました。
- 秋田県秋田市、新潟県村上市の住民の方々と地域の医療福祉の課題についての意見交換を行いました。

② 医療福祉事業支援活動

- 会員や事業者からの要請に応じたコンサルティングを実施しました。
- 支援要請のあった法人の経営支援、人材確保支援、MBO(目標管理)導入支援などを行いました。

地域	経営戦略 予算づくり	MBO 職員教育	理事会 組織運営	医師確保 職員採用	幹部確保 幹部育成	まちづくり 地域調査
合計	4	2	4	4	3	0

(3) 教育・研修部門

① 協同組合教育研修支援活動

- けいはん医療生協の幹部育成研修(12回:2017年6月～2018年5月)を支援しました。
- 幹部育成研修のテキスト作りや専門家との連携作りができました。

	2017							2018					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
午前	研修説明	自己紹介	経営数字を読む				2018年 度方針 策定論 議合宿	経営数字を読む					視察 研修
前	医療福 祉 生協論	情勢分 析演習 1	生協組 織論	経理実 務演習	医療・ 福祉経 営論	行政文 書解読 演習		メンタ ルヘル ス	MBO 理論と 演習	経営分 析・経 営診断	医療福 祉生協 のトップ 幹部論		
午後	生協法 演習	医療・ 介護労 働論	地域分 析入門 演習	政治 経済学 概論	方針作 成演習	社会保 障論		まちづ くり論	演習	アサー ティブ コミュニ ケーション			
まとめおよび来月のオリエンテーション							まとめおよび来月のオリエンテーション						

② 講師派遣活動

- 日野理事長、藤谷専務を中心に、講師活動を行いました。

テーマ	4～9月	10～3月	合計
情勢関連	2	1	3
介護関連	1	2	3
医療関連	2	2	4
社会保障関連	3	2	5
協同組合・他	1	2	3
合計	9	9	18

(4) 出版・メディア事業部門

研究事業の成果や教育活動の内容などを書籍やCDとして出版しています。2017年度は、以下の出版活動を行いました。

① 「これからの日本と社会保障、そして私たち」の発刊

- 日野秀逸理事長の東京都生協連での講演内容を著書として2017年7月にあけび書房から発刊しました。初刷1,000部が完売し、8月に第2刷1,000部を発行しました。
- この書籍は、医療福祉生協連の取り扱い書籍となりました。

② けいはん医療生協小規模多機能型居宅介護PV（プロモーションビデオ）の製作

- けいはん医療生協の経営検討の中で、小規模多機能型居宅介護のサービス内容が組合員や職員に知られていないことが問題点として浮かび上がり、組合員や職員に知らせるためのPV製作を受託しました。
- PVの企画、撮影、ナレーション、編集をアルスヴィータが行いました。製作期間は約半月でした。

(5) 広報活動

① ホームページ

- 2017年度は、ホームページ(2015年11月開設)を23回更新し、研究所の目的や活動のほか、イベントやセミナー、出版物を紹介しています。

② フェイスブック

- フェイスブック(2016年1月開設)で研究所の活動内容の紹介や医療福祉関連の政策とそれに関するコメントの発信を行っています。2017年度は、23回発信しました。

③ メールマガジン

- 会員メールマガジン(2016年2月開設)は、2017年度21号を発行し、通算69号になりました。広く憲法や社会保障、平和や労働組合運動、高齢者問題や住宅問題、政策の審議状況などについての情報提供を行っています。